

令和5年度 高山市小・中学校教育の方針と重点

教育の願い

郷土高山に根ざした
心に残る教育を創造する

教育の方針

郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための
資質・能力を育む

教育の重点

挑戦し続けるたくましさの育成

達成感と貢献感を積み重ねることが挑戦するエネルギーになる

深い学びを
実感できる
授業への挑戦

ワクワクする
カリキュラム・マネジメント
～挑戦の中に変化を～

一人ひとりの子に
居場所をつくる
(教育支援センター構想の推進)

「なりたい自分」へ向かう
個の見届け

個の多様性を尊重し、一人ひとりの可能性を伸ばす教育により
自分らしい花を咲かせることができる力を！

郷土教育

地域との協働・
地域社会への発信

生き生きと働く
学校づくり

今後の学校の在り方の検討（小中一貫教育）

高山市教育大綱

- ・社会全体で協働し子どもを育む
- ・豊かな心、健やかな体、確かな学力をともに養い、生きる力を身につける

高山市教育委員会事務局学校教育課 ☎0577(35)3154

- ・いじめSOSダイヤル ☎0577-35-3500
- ・不登校相談(あい塾) ☎0577-53-3770
- ・セクハラパワハラ相談 ☎0577-53-2368



●主体的・対話的で深い学びにより生きる力を育む教育の推進（深い学びを実感できる授業への挑戦）

「高山市教育振興基本計画 基本施策1」

確かな学力の育成	主体的・対話的な学びを充実させ、 <u>深い学びの実感</u> （各教科の見方・考え方を発揮）ができる授業を展開します。個別最適な学びと協働的な学びの一体化により、一人ひとりに確かな学力を育みます。
英語教育	小学校高学年及び中学校において、目的・場面・状況に応じたコミュニケーション能力を育成する指導を心掛け、その評価の一環としてパフォーマンステスト等を実施します。
道徳教育	児童生徒が、道徳的課題を自身の問題ととらえ、 <u>よりよい生き方について考えを深める指導</u> を推進します。
健康教育	積極的に体を動かし運動を楽しむ活動を位置づけ、食育や眠育等の指導を充実させ、自己管理ができる指導を推進します。
特別活動	<u>個々の多様性を尊重し合い、可能性を伸ばしながら、よりよい生活を自主的・自動的に築くことができる指導</u> を推進します。

●すべての子どもに居場所をつくる教育の推進

「高山市教育振興基本計画 基本施策2」

（「なりたい自分」へ向かう個の見届け）（一人ひとりの子に居場所をつくる）

いじめの未然防止と早期対応	<u>「魅力ある学校・学級づくり」「いじめを許さない学校風土づくり」</u> に学校教育全体で取り組み、積極的な未然防止につなげます。また、いじめ防止アドバイザーと連携して早期対応、継続的な支援を行います。各校の良さを学びあうため、 <u>児童生徒の交流</u> を進めます。
人権教育	共生社会を目指し、認識力、自己啓発力、行動力を育む指導や <u>多様性を尊重する指導</u> を推進します。
生徒指導	児童生徒との日常の対話を重視し、児童生徒のわずかな変化も見逃さず、問題行動（いじめ、暴力行為、SNSの悪用等）について危機意識を高くもち、 <u>組織的に未然防止や早期発見・早期対応</u> に努めます。
不登校支援	「心のアンケート」を活用したり、スクール・カウンセラーと教職員が連携したりしながら、 <u>多様な児童生徒</u> に寄り添い対応するとともに児童生徒や保護者とともに居場所について考えていきます。
特別支援教育	本人や保護者との合意形成を図りながら、関係機関等との連携と「サポートブック」等を積極的に活用して幼保小中の接続を適切に行い、卒業後までを見据えたその子に適した教育支援を推進します。校内の特別支援教育体制の充実に向けて、 <u>教職員の特別支援教育の理解やユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり</u> を推進します。

教育支援センター構想の推進	<u>「教育支援センター」</u> （学校の指導支援・ <u>あい塾</u> の運営・不登校特例校分教室の設置への取組・市民や外部機関との連携 等）を中心 <u>児童生徒の居場所づくりと学びの保障</u> に努めます。また、その子に適した指導支援の研究・研修を進めます。
----------------------	---

●地域全体の協働による郷土教育の推進（地域との協働・地域社会への発信）

「高山市教育振興基本計画 基本施策3」

地域社会に開かれた特色ある学校づくりの推進	学校運営協議会と連携し、社会に開かれた教育課程の改善を図り、学校・家庭・地域が一体となって <u>特色ある教育</u> を推進し児童生徒の可能性を伸ばします。
総合的な学習の時間	探究的な学習活動の充実を図り、 <u>問題解決能力や表現力を培い、学びの出口を確立した地域社会に発信できる学習へ</u> と高めます。
キャリア教育	地域の方々の支援（高山市キャリア教育でまえ講座等）を積極的に活用し、「キャリアパスポート」を用いて、社会的・職業的自立に向けて、「 <u>なりたい自分</u> 」づくりの指導を推進します。
部活動の地域移行	休日の部活動の地域移行検討委員会を設置し、 <u>子どもが生き生きと活動できる地域移行</u> を順次進めます。

●時代の変化に対応した教育環境の充実（生き生きと働く学校づくり）

「高山市教育振興基本計画 基本施策4」

危機管理	子どもの命に関わる危機管理研修（いじめ・食物アレルギー対応・非常変災・感染症対応・安全指導等）や公金管理、情報管理など職務に関わる服務規律研修を実施し、 <u>安全安心な学校づくり</u> に努め、迅速かつ的確に組織的な対応ができるようになります。
教育環境の整備	業務改善プランを推進し、子どもに向き合う時間を確保し、やりがいにつながる教職員の働き方改革及び教育のDXを推進します。
教員研修	研修主事が中心となり、教員が主体的に学ぶ研修を実施します。（校内研修、自己の課題達成に向けた研修、わくわくチャレンジ研修、ワーキンググループ研修 等）
I C T の活用	ICT（一人一台端末や電子黒板、授業支援ソフト、小学校 NEW! GIFU ウェブラーニング 等）を活用し、学びを保障します。タブレット持ち帰りでの活用の研究を進めます。